

平成29年度 第1回花巻市文化財保護審議会

日時：平成29年5月29日（月）午後2時から午後3時15分

場所：花巻市石鳥谷総合支所 3階 3-2・3-3会議室

----- 会議記録 -----

委嘱状交付 深澤あかね氏へ教育長から委嘱状の交付

委員 11名中 11名出席により、会議成立

1 開 会

村田補佐

2 教育長あいさつ

委員全員の出席、ありがとうございます。はじめに、この4月に当保護審の佐竹委員が亡くなりました。佐竹委員には、長い間、生物（動物）分野において様々なご指導賜りました。胡四王山のヒメギフチョウの群生地や矢沢地区のゼニタナゴ、キノコ学習観察会等で大変ご尽力いただきましたことが思い起こされます。心よりお悔やみ申し上げます。

ただいま委嘱状を交付いたしました深澤委員には、近代を中心とする分野においてご指導を賜りたいと存じます。よろしく申し上げます。

さて、新年度の人事異動において、文化財課職員にも異動がございましたので、新しく配属されました職員の紹介をいたします。教育部長の布臺一郎、文化財課長補佐の村田豊隆、埋蔵文化財係長の佐藤幸泰、埋蔵文化財係主査の伊藤真紀子、文化財係主査の小田島英明であります。よろしく願いいたします。

本日は、次第の通りの報告と事業説明をいたします。

配布資料の確認

3 報 告

(1) 市指定文化財の所在確認調査結果について

大内係長から、報告

質疑：中村委員 指定文化財の説明板が設置していない部分が半分以上あるようなので、今後の設置作業について適切に対応してほしい。

村田補佐：教育委員会以外で設置した説明板が設置されているところもあるので、今後関係部署等と調整しながら計画的に対応していきたいと思う。

菊池会長：説明板の形状に統一感がない。

岡 本：新市合併後、三つの形状の説明板を設置しているが、旧市町で設置した説明板をすべて再設置するには時間と費用が掛かるので、今後の作業となる。

木村委員：光徳寺の文化財について。現在、修復に出していた本尊の阿弥陀像も戻っている。本堂は完成しており、十一月の落慶法要を待つ状態にあるので、所在確認ができると思われる。

村田補佐：所有者と調整のうえ、対応したいと思う。

(2) 登録有形文化財の登録に係る意見について

酒井課長から、報告

質疑：中村委員 今後、どのように活用されるのか。使用していかないと登録有形に指定しても意味がない。

酒井課長：文化庁の調査官も話していたが、今後の活用方法について十分に検討してから、活用して欲しいとのことであった。所有者側としては、資料館またはちょっとしたカフェスペースとして利用できるのではないかと考えているようだ。本来の利用目的に沿って利用したいが、建物の傷みも進行しており、難しい。

4 協 議

平成29年度文化財関係事業計画について

重点施策について 酒井課長から新規の案件を中心に報告

一般文化財について、大内係長から報告

埋蔵文化財及び文化財センターについて、佐藤係長から報告

質疑：

阿部委員：無形文化財についての状況調査について、その調査方法はどのようにされるのか。

酒井課長：県教委が過去に実施した悉皆調査を基に当方で必要な事項を加えてアンケートを送付して調査する予定。

阿部委員：花菖蒲群落の調査を実施する際、調査委員会を立ち上げる際に、地元との関係・協力なしでやらないでほしい。

酒井課長：現在、四季会には、指定地外の草刈り等をしてもらっている。指定地内は、

国指定になっているので、現時点では作業をお願いできない。委員会を立ち上げる際に、文化庁にも参加してもらうよう検討しているので、今後の推移をみてからの対応となる。

阿部委員：草刈りしてもらうのはいいが、現地（その場所）で処分するのはいかがなものか。現地に残してもすぐには土に還らないので、清掃センターへ搬入するなど、別の場所で処分方法を考えてほしい。

大森委員：ほぼ絶滅状態にある花菖蒲なので、本腰を入れて対応を考えてほしい。

酒井課長：指定地内に立ち入れない現状を考え、きちんと文化庁を委員会に入れて花菖蒲の保護のため、指定地内に入れるような対応ができるように委員会組織を立ち上げたい。

大森委員：生物担当の佐竹委員が亡くなられたので、後継の委員の人選等について対応を考えてほしい。

中村委員：調査研究案件の中で、16番は「神明社」である。修正してほしい。また、リストに抜けていたので追加してほしいのだが、大迫町内川目の久出内の馬っこつなぎの行事は、集落で行っているのが県内でここだけになってきているので、今後記録保存調査をしたいと考えている。

阿部委員：追分の碑について、市内各地にまだたくさんある。仙台藩との境にもあると思うので、各地のコミセン等にアンケートされて調べてほしい。

中村委員：いまでは、神社等の境内地内に集約されてしまっているが、所在地だけでも確認したほうがいいかもしれない。

高橋委員：故・島二郎先生がまとめていた庚申塔の報告書などに追分の碑についても記述があったと思う。それらを参考にして調べられればいいのではないかと。それぞれを指定せずとも、調査報告書にまとめればよいと思う。

小野委員：一般文化財調査報告書は文化庁にも提出しているのか。

岡 本：文化庁へは提出していないが、図書館等関係施設へ提供している。

中村委員：一般文化財調査報告書も、表紙に執筆者名などの記述を追加したほうがいいのではないかと。

照井委員：地質に関する件について、どのようなことを調べて、どのようなことを報告したらいいのか。例えば、台川の陶土と黒曜石、これは何を知りたいのか。

酒井課長：例えば、陶土は、花巻の焼き物との関係性があるのであれば、その辺を調べていただきたい。黒曜石は宮沢賢治とその作品との関係性について、調べてほしいと思っている。

照井委員：豊沢川の化石層、私の記憶では豊沢川には、はっきりした化石層は見られない。葛丸川は「檜木大学士」に関する事なら、相容れない結果が示されている状況で、何ともいえない。

高橋委員：釜石の橋野高炉のレンガが、台温泉の方からもってきたという話を聞いたことがある。

中村委員：温泉の西側に、「カワラバ」（カラバ）と呼ばれているところがあったらしいが、今では荒れ果てて、どこかわからなくなっている現状で、これ以上わからない。

5 その他
特になし

6 閉 会